

2023年5月23日

市光工業株式会社

市光工業、「人とくるまのテクノロジー展 2023 YOKOHAMA」に出展  
「ライティング・エブリウェア」がもたらす  
電動化・自動運転時代の車両に向けたライティングの未来



大手自動車部品メーカーの市光工業株式会社（本社：神奈川県伊勢原市板戸 代表取締役社長：ヴィラット・クリストフ、以下 市光工業）は、2023年5月24日（水）から5月26日（金）まで、開催される自動車技術展：人とくるまのテクノロジー展 2023 横浜 と ONLINE STAGE 1 のハイブリッド開催に出展し、今日のモビリティにおける重要課題である自動運転と電動化に関するライティングソリューションを発表いたします。

市光工業では次世代の自動車を彩る、未来志向の革新的なフロントフェイスを展示いたします。電動化と自動運転車両に向けた当社のインテリジェントなライティングのコンセプトにより、グリル・バンパーにまで及ぶライティングは、意匠性の差別化とドライバーの視界の改善はもちろん、道路利用者とのコミュニケーションを促進し、安全性の向上にも寄与します。

HD ライティングによるグレアハイビームや路面描画などの先進機能に加えて、薄型のヘッドランプや長尺の信号灯を搭載することで、最新のスタイリングトレンドに沿ったデザイン性も兼ね備えています。さらに、広範囲にわたるライティングにより、光の動きで車両の動きや危険を周囲に知らせ、安全面においても一步先を行く製品となっています。また、マイクロLEDを使用したディスプレイにより、車両の充電状況やメッセージをわかりやすく表示することもできます。

“照らす”だけでないライティングの価値をご提案します。



次世代の車両に向けた、新たなリアフェイスのコンセプトを展示いたします。最新のスタイリングトレンドに合わせたライティングは、車両に先進的な印象を与え、大型のライティングエリアは“被視認性”、“安全性”というリアランプの最も重要な役割を更に強化します。

このテールランプには、均一発光が特徴の有機 EL を光源として採用しており、ピクセル状に配置された LED は、点灯パターンを変えることで自由度の高いシグニチャー表現を実現し、従来の“止まる”、“曲がる”といった意思表示以上の情報を、分かりやすく表現することができます。さらに、マイクロ LED ディスプレイによる情報表示や、自動運転中を示すインジケータも搭載されており、これらの新しいコミュニケーションライティングは、新時代の車両のためにデザインされました。この新しいリアフェイスは、次世代の車両に不可欠なエッセンスを盛り込んでおり、より美しく、より先進的な印象を与えます。



安全・安心・快適なドライビング環境を創造する市光工業は今年も HD ライティングを展示いたします。HD ライティングはヘッドランプの照射範囲を数万ピクセルに分割して個別に制御する技術です。ロービーム及びハイビーム双方の照射範囲を細かく制御することで、ドライバーの視認性向上や運転をサポートし、夜間運転時の安全性・快適性を高めます。

ハイビーム領域では高精細なグレアフリーハイビームにより最大限の視界を確保することができます。また精細な配光制御によって標識への照射を減光し反射による眩しさの低減や歩行者への光を遮光し幻惑を防止することができます。

ロービーム領域ではレーンガイドやナビゲーション表示を路面に投射することによる運転サポートや、車両の前方を横断する歩行者の足元を強調し発見しやすくするといった安全性の向上に効果的です。



(参考)

<市光工業株式会社とは>

市光工業は 1903 年創業以来、自動車用ランプとミラーの純正部品専門メーカーとして、国内外の主要自動車メーカーに製品を納入してきました。

2017 年には仏ヴァレオ社の子会社となり、電動化や自動運転に対応した新製品の開発、グローバル市場でのシェア獲得や地理的な相互補完関係などの強化を進めております。

2019 年から稼働開始いたしました厚木の新工場では、リーン生産方式や生産の自動化など、あらゆる最新の生産技術を導入し競争力を高めております。

<本件に関するお問い合わせ先>

市光工業株式会社  
経営企画室 室長 高森

TEL : 0463-96-1442

URL : <http://www.ichikoh.com/>